

令和8年度 第2学年 音楽科 学習の指針（シラバス）

1. 学習の目的（教科の目標）

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しめるようにする。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する力を身につける。

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
	<ul style="list-style-type: none"> ○「校歌」 ○全校合唱曲 ○学年合唱曲 ○歌唱テスト ○鑑賞「フーガト短調」 ○「夏の思い出」 ○歌唱テスト ○定期テスト（筆記） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の歌であることを意識し、式典でも堂々と歌えるようにする。 ・混声3部合唱の感覚をつかみ、ハーモニーを感じながら歌えるようになる。 ・混声3部合唱の響きを感じながら歌う。 ・フーガの構造を理解する。 ・主題を聴き取り、それが追いかけて重なり合っていく面白さを味わう。 ・パイプオルガンの構造を理解する。 ・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌う。 ・強弱の変化を意識して歌う。
	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞「交響曲第5番ハ短調」 ○歌唱テスト ○「サンタルチア」 ○鑑賞「アイダ」 ○送る会の歌 ○卒業式の歌 ○鑑賞「歌舞伎『勧進帳』」 ○歌唱テスト ○定期テスト（筆記） 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成と曲想のかかわりを理解し、オーケストラの響きを味わう。 ・ベートーヴェンについて知る。 ・8分の3拍子の雰囲気をとらえ、曲想を生かして歌う。 ・リズムの揺れを感じ取って歌う。 ・総合芸術としてのオペラの美しさを味わう。 ・演奏形態による印象の違いを感じ取る。・声部のバランスを保ち、美しいハーモニーを目指す。 ・旋律の流れを生かし、感情を込めた表現の工夫をする。 ・総合芸術である歌舞伎の特徴を理解し、演技と音楽との関わりを感じ取る。 ・日本の伝統芸能の良さを感じ取る。

3. 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	曲想と音楽の構造などとの関わりや、音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能を評価します。	歌唱テスト、定期テスト、鑑賞ワークシートなどで評価します。
思考・判断・表現	音楽表現を考えて表現に対する思いを持つことや、曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴く能力を評価します。	歌唱テスト、鑑賞ワークシートなどで評価します。
主体的に学習に取り組む態度	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする態度を評価します。	毎回の授業の取り組み、振り返りシートなどで評価します。

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

(1) 表現

- ① 範唱CD、先生の声、友達の声をよく聴いて表現する。
- ② 自信をもって声をしっかりと出す。
- ③ 課題に積極的に取り組む。
- ④ パート練習に積極的に参加する。
- ⑤ 学級での歌声活動にも一生懸命に取り組み、積み重ねを大事にする。

(2) 鑑賞

- ① 題材をよく理解する。
- ② 聴く時のポイント（ねらい）を捉えて聴く。
- ③ 日頃から様々な音楽に関心を持つ。
- ④ 自分の好みに捉われず、音楽の良さを感じ取って聴く。